

JARL

香川クラブ報

No. 339 平成17年2月15日



J A 5 Y D E

通常総会のご案内

常日頃、会員の皆様には何かとクラブ活性化のためにご協力いただき感謝いたしております。また、会員およびご家族の方もご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

ところで、昨年は「災」の一字で一年があらわされましたが、我々が居住する香川県では、7月末に異常渇水のため〈香川県渇水対策本部〉が設置されました。ところが、翌日には台風が発生し、その台風が雨をもたらしホッと一息。〈渇水対策本部〉を解散しようとした矢先、今度はあまりの大雨のため西讃方面で土石流や崩落が発生。〈渇水対策本部〉が急遽〈水防本部〉そして〈災害対策本部〉に移行。その後來るは来るは台風のオンパレード。海から山からその被害は台風が襲来するたびに拡大し、未曾有の事態に陥りました。しかし、その後その出来事は新潟中越地震やインド洋スマトラ沖地震などの大事件があり、ニュースなどではあまり取り上げられませんでした。日本における災害史上に残るほどのものでした。クラブ会員の中にも多大な被害を受けた方がたくさんいました。慎んでお見舞い申し上げます。

さてクラブとしては、クラブミーティング。オールJ A 5 コンテストや香川マラソンコンテストその他J A R Lの主要コンテストへの参加。フィールドミーティングでは焼肉と移動運用そして冬の恒例行事となったスキーツアー。全日本大会を始め各A R D F大会への参加や忘年会などアクティブに活動しました。

が、何時も言うように各種行事への参加者の顔ぶれはほとんど同じのようです。いろいろとお忙しいとは思いますが、ぜひどれか一つからでもクラブの行事に参加するようにしてみても如何でしょうか。また、今まで参加したことのない行事やご無沙汰気味の行事に参加することで、新たな人生の発見や人との出会い、思い出が得られるのではないのでしょうか。

平成16年度も残すところ後わずかとなりました。そこで、クラブの通常総会を下記のとおりおこないます。年度末の大変お忙しい時期ではありますが、趣味の会ですので役員任せにするのではなく会員一人一人が積極的に参加するクラブであるためにも万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようお願いいたします。

なお、毎回お願いしておりますが**出席の有無に関わらず同封しております葉書(欠席の場合は委任状)**に近況などをご記入の上必ずご返送下さいますようお願いいたします。

記

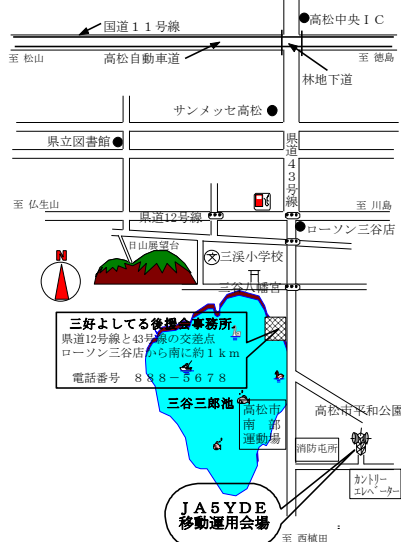
日時：平成17年3月27日(日)

13:30~15:30

場所：高松市三谷町

三好事務所(右図)

- 議題：1. 平成16年度事業報告
2. 平成16年度会計報告
3. 役員改正
4. 平成17年度事業計画案
5. その他



大盛況の忘年会

12月25日に恒例の忘年会在「喰道楽酔灯屋」において盛大に開催されました。

酒宴に先立ち、まずJA5AHM天野会長から災害に対するお見舞いやクラブ行事などに関して年末締めくくりのあいさつがありました。



引き続きJA5MG稲毛JARL四国本部長がJARLの近況、各種改正・改定事項の報告、ARDF世界大会や7MHz帯の拡大についての経過報告などアマチュア無線を取り巻く情勢などについてあいさつがありました。

一通りあいさつが終わりいよいよJA5UY長尾OMの乾杯の音頭で酒宴へと移りました。

乾杯が終わると、「待ってました」とばかりに料理に手を出す者、コップを煽る者、隣と談笑する者いろいろです。そうこうしているうちに席はばらけてそれぞれ膝をつき合わせ無線談義に花が咲き、年明けに予定されているフィールドミーティングのスキーツアーやARDFにマラソンコンテストなどあちらこちらで盛り上がり話は尽きません。また記念写真を撮ったりとあちらこちらで花が咲いていました。

途中、誰かの知り合いだからと言う事で、マスターからお酒や料理の差し入れがあり、思わぬ追加でまたまた贅沢な宴席になりました。

「あっ」という間に時間が過ぎ去り、お店の可愛い女の子にシャッターをお願いして最後にみんなで記念写真(表紙の写真)を撮りました。

そして、JH5LYW三好副会長の中締めの乾杯で2時間あまりの楽しい年の瀬恒例の行事は盛会のうちに終了しました。

その後「今年最後のはしゃぎ納め」とばかりに、2次会へと繰り出してカラオケや



おしゃべりに時間も忘れ楽しんでいました。

2005年も会員みなさんにとって良い年でありますようにお祈りしております。

＜忘年会参加者＞

JA5AHM/JA5MG/JA5UY/JA5TFJ/JH5LYW
JH5PMZ/JH5WMN/JR5GL0/JE5PB0/JF5ICA
JF5ICB/JG50BX/JI5VWA/JI5XTP



クラブ員多数がコンテストに参加

香川マラソンコンテスト集計表

昨年12月1日から15日まで、JARL香川県支部主催で開催された香川マラソンコンテストにおいて、JA5YDEは右表のとおり運用を行いました。

社団マルチの部において第1位の成績でした。

運用に協力いただいたオペレータの各局、サービスいただいたクラブ員各局にはお疲れさまでした。

日付	交信数	区分				
1日	17	バンド	局数	地域マルチ	モード	局数
2日	10	1.9MHz	4	2	C W	68
3日	15	3.5MHz	22	4		
4日	21	7MHz	28	7		
5日	4	14MHz	10	3	S S B	81
6日	1	21MHz	26	5		
7日	7	28MHz	23	4	F M	130
8日	8	50MHz	22	5		
9日	4	144MHz	51	10		
10日	7	430MHz	61	11		
11日	63	1200MHz	9	2		
12日	16	交信局数 地域マルチ 日数マルチ				
13日	25	合計 $256 \times (53 + 15) = 17,408$				
14日	24	(総交信局数 279 局、県外局とダブリを除く有効局数 256 局)				
15日	57	OP: JA5TFJ/JH5LYW/JR5EHB/JF5ICA/JG50BX/JI5VWA/JI5XTP				

アマチュア無線のアクティビティ低下とともにコンテストの参加者も減少している中、昨年に比べ交信局数が大幅に増え、近年ではかなりの高得点となりました。久しぶりに第1位の栄冠に輝いた事はクラブの活性化にもつながる事と思います。

なお、クラブ員で個人の部において入賞された方々のお知らせをします。

マルチバンド・マルチモードの部 第2位 JH5EZB
 7MHz 電信電話の部 第1位 JA5TFJ
 21MHz 電信の部 第1位 JR5EHB
 430MHz 電信電話の部 第1位 JI5SAO

以上、4局の方が入賞されました。各局おめでとうございます。

今年の総参加者は65局で、クラブ員でログ提出者は13名でした。(昨年は10名) お空での忘年会、Rig・Antの点検を兼ねて、ぜひ次回は今回以上の参加者があることを期待しています。

また、昨年7月17・18日に開催されました「オールJA5コンテスト」において、

「JA5YDE」は社団の部四国第1位で入賞しました。

個人の部門におきましては下記の方々が入賞しております。

3.5MHz 電信電話の部 四国第1位 JR5EHB
 3.5MHz 電信の部 香川県第1位 JH5LYW
 430MHz 電信電話の部 香川県第1位 JI5SAO

なお、クラブ員でログ提出者は5名でした。

両コンテストとも地元主催のコンテストにしては少し寂しいですね。「コンテストに参加したことがない」とか、ビギナーの局にとっては「香川マラソンコンテスト」とか「オールJA5コンテスト」はルールも簡単で馴染みやすく参加しやすいコンテストです。アクティビティ向上のためぜひこれらのコンテストに参加するようにしましょう。

ARDF3.5MHz 帯エシビジョン大会参戦記(その2)

J F 5 M E D

今回は、3.5MHz 部門初心者へのアドバイスに時間を費やしたので、呼び出しまでの時間が早く感じられました。いつもだとスタートまでの待ち時間で体をアップさせているので、この時間帯は結構大事です。呼び出し以後の時間帯では競技を楽しむうえで、集中力を高める意味合いからも他から邪魔をされたくはない時間帯であります。

配布された競技用地図を眺め、競技エリアのイメージを頭の中に記憶させるのですが、今回の蒜山高原は起伏が少なく、目的の各 TX エリアに行くまでの走行ルートが少なく、選手がお互いに追従になる事が多いのではと考えていました。

3.5MHz 帯の競技の場合、誤った測向によるロスタイムで大きく順位を落とすため、少しでも余計な回数を省こうと、当初考えていた受信開始地点での測向を 10 分間(144MHz の時は 5 分程度)と入念におこないました。3.5MHz 帯は、余計な反射波が多くないので方角を出すのは初心者でも以外と簡単に出来ると思います。地図上に電波の到来方向を書き入れるのに最初の 5 分を費やし、残りの 5 分でその方角に間違いがないか確認しました。各 TX までの有効的な回り方を試算しながら、いよいよ競技の開始です。

最初に向かったのは、西エリアに置いてある 1 番 TX でした。距離で言えばスタート地点から約 1.1km で、各 TX から発信される電界強度ランクは 3 番目でした。最初の測向によれば地図上に示された古墳群の方角でしたので迷わずそちらに向かいました。目的の TX に近づくにつれ先行者の姿があらこちらで見受けられました。しかしこの近辺にはないと判断していたので、当初の考え通り古墳群に移動。難なく 1 番 TX を見つけることが出来ました。まず一個 TX を見つけたことにより気分的に楽になりました。

5 番 TX は 1 番 TX からは 600 メートル程北の高原でサイクリングロード際の茂みの中にありました。電界強度ランクは最初から一番強く入感していたので見通しが利く所に有るのだろうとは思っていたのですが、人目に付くような道路際に堂々と設置してありビックリしました。

3.5MHz 帯競技では絶対に欠かせないのが 2 点もしくは 3 点測方です。1 番 TX 発見後、地形により受信状況が目まぐるしく変わる中、位置を割り出し直接波か反射波かを区別し、難なく短時間内に目的地まで近づくの確に特定する事が出来たのですから、日頃から自分が使っている受信機の性能を熟知し、練習での成果が見事に発揮されているようで内心感動すら覚えました。144MHz 帯なら余計な反射波に惑わされてこうは上手くいかないと思いますから、やはり 3.5MHz 帯競技は純粋に面白いと思いました。

気を良くして電界強度ランク 2 番目に強かった 4 番 TX へと向かいました。5 番 TX からだと、東へ 500 メートル以上は離れているようです。これもだいたいの位置を割り出していましたので、先行者よりも速く TX を見つけ出すことが出来ました。最初の入念な測向をしたのが的確に的を射た形で、今後競技を進める上で凄く参考になりました。「残り 2 つの TX も多分時間が掛からないだろう」とこの時点で思っていました。



3番TXは、場所の特定も済んでいましたのでそれは最後に行ったほうがタイム的には良いと判断。2番TXは最初から電界強度が著しく悪いので山間部の直接には見えないエリアにTXが有るのだと思っていました。頭に浮かべる理想ルートを想定しながら、この時点ではまだエリアの定まらない2番TXへとあえて足を運びました。

「この辺」と思われるエリア近辺まで来たのですがお目当てのTXは一向に見つけない事が出来ません。ヘッドホンには一定レベルの信号でしか聞こえてこない為に「反射波を追って来たのか？」と我が耳を疑うありさまでした。3点測向で引いた線は人が入らないような森の中で、明らかに信号が弱いのですが、思い込みから必死にTXを探し時間を消費させていきました。「ここで焦らないように」と冷静になって考えると、ふと思い出す事がありました。



「3.5MHz帯の場合良く高圧電線等に電波がのる」という事を以前何処かで聞いたことを思い出したのです。「ハッ」と思い真上を見上げると頭上にはものの見事に高圧電線が……。いくら探してもTXが無いわけで、又一つ勉強させて貰った事でこの場所を離れる事ができました。少し離れて見たら、別の角度で目的のTXからの電波を受信機が教えてくれました。そちらの方角に進むと今度は難なく見つける事が出来ました。10分程度の思わぬ遅れのため、ライバル達との時間差を挽回すべく残りの3番TXを目指して移動。2番TXからだ約400メートルぐらいしか離れてないと推測。近場に有るので一鳴きで行ける距離だと考え先を急ぎました。思惑通りの時間に、尚かつ推測したポイントで3番TXを探し出し、5個のTXを全て見つけたのに約1時間



13分。帰り道は穏やかな丘陵地で舗装道路ばかり。体力的にも余裕があり、ゴールしたら1時間27分54秒というタイムで1位になることが出来ました。

最後に全体的な感想ですが、今回は全日本大会前日のエキシビジョン大会と位置づけられた大会であり、選手への考慮もあつたかTX間の距離が物足りなく、「もう少し離しても競技時間2時間以内で全てのTXを見つけれられたのではないか」と思われました。3.5MHz帯の場合、アンテナが大きく近くに行くと目で見つけ出す事が可能なので、見晴らしの良い場所での

設置場所は控えた方が良くと思いました。それから関東勢の受信機等を間近に見て思ったのですが、「オリエンテERINGで使うコンパスが3.5MHz帯競技では必ず必要」と思われました。TXまでの進行方向確認のために受信機に取り付け電波の方向確認が頻繁にとれるようなスタイルが好ましいようです。今後私も取り入れてみようと思います。

さて、エキシビジョン大会とは言え初めての3.5MHz帯全日本大会で初代のOMクラス優勝という栄冠を得る事ができ喜びもひとしお、またいろいろと学べる所の多い競技会だったので大変有意義な一日目でありました。

山田OM、初の3.5MHz帯全日本ARDF大会での優勝おめでとうございます。
平成17年度からARDF競技大会のルールが一部改正となり、従来のクラス区分が大幅に変更されるようですから(詳細は別途記載)、3.5MHz帯全日本大会OMクラスでの優勝という結果は、今後誰にも破られる事はないでしょうね。今後とも飽くなき探究心を持って技術の向上に邁進されますとともに、後輩の育成にご尽力いただきARDF競技大会の益々の発展に寄与されます事を祈念します。

ハムフェスティバル i n 香川に参加を！

J A R L 香川県支部主催「ハムフェスティバル in 香川」が下記のとおり開催されます。

日 時：3月13日(日) 12:30～15:00 (受付は11:00～13:30 まで)

会 場：綾歌町「アイレックス総合会館」

国道 32 号線沿 綾歌町役場の東側

次 第：支部大会

講演「D－S T A R」

各種表彰式

記念写真撮影

お楽しみ抽選会

その他：自作品コンテスト、ジャンク市、各メーカー展示

ローカル各局お誘い合わせの上、たくさんで参加しましょう。

アマチュア局の申請書様式の変更について

アマチュア無線局の開局、変更、再免許などの申請書用紙が大幅に改定されることになりました。

旧様式での申請は5月9日までです。すでに申請書を購入しており申請期間に入っている方は早めに申請してください。5月10日からは新様式でないと受け付けてくれませんのでご注意ください。

詳細は J A R L N E W S 1-2 月号、J A R L W e b (<http://www.jarl.or.jp>) を参照してください。

A R D F 競技大会規則の一部改定について

クラス別の名称及び検索 T X が、国際大会基準に合わせ下記のとおり改定されました。

クラスおよび年齢区分

W 1 9	M 1 9	大会開催年の 12 月 31 日現在、1 9 歳以下
W 2 1	M 2 1	年齢制限なし
W 3 5		大会開催年の 1 月 1 日現在、3 5 歳以上
	M 4 0	大会開催年の 1 月 1 日現在、4 0 歳以上
W 5 0	M 5 0	大会開催年の 1 月 1 日現在、5 0 歳以上
	M 6 0	大会開催年の 1 月 1 日現在、6 0 歳以上

検索 T X

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| (1) M 2 1 5 個 | (6) W 1 9 第 2 T X を除く 4 個 |
| (2) M 1 9 第 3 T X を除く 4 個 | (7) W 2 1 第 4 T X を除く 4 個 |
| (3) M 4 0 第 5 T X を除く 4 個 | (8) W 3 5 第 1 T X を除く 4 個 |
| (4) M 5 0 第 2 T X を除く 4 個 | (9) W 5 0 3 個 |
| (5) M 6 0 3 個 | |

M 6 0 及び W 5 0 は、審判長が指定する 3 個の T X を探索する。

なお、競技クラスを細分化あるいは統合した場合については、審判長が当該クラスに適した T X を指定する。尚、この改正実施方法は平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL 香川クラブでは、新入会員を募集しています。

今年はクラブ結成57年になります。

そこで、更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。
クラブに新風を吹き込むためにも、新入会員の募集にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

特に、家族会員の方が十分に把握できていません。

せっかく取得したコールサインを流し、また再開局するのは不経済です。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

**Eメール：JH5WMN
JH5LYW**

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成16年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英 弘
編 集 者	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光